

2024.9.13

第14回副首都推進本部（大阪府市）会議

参考資料 2 - 2

副首都ビジョン【改定版】の概要

大阪府・大阪市 副首都推進局

大阪が、平時の日本の成長、非常時の首都機能のバックアップを担う副首都として、『東西二極の一極、さらに、複数の都市が日本の成長をけん引する新たな国の形』を先導。

経 済

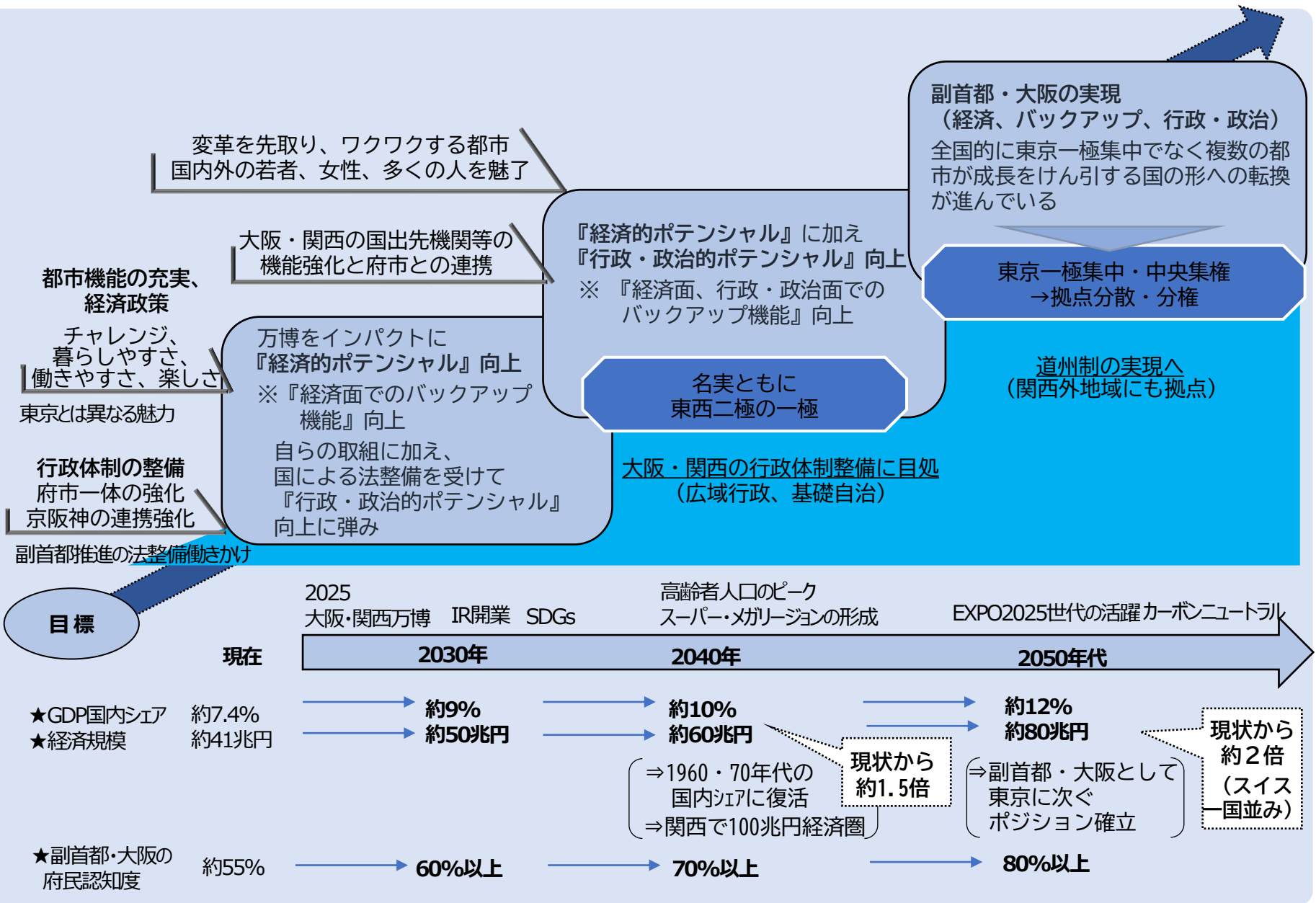
- ◆ 駆動力となるのが、商いのまちとして育んできた「民都」の力。これを最大限生かして、西日本の中枢拠点（分都）として、アジアとの交流（アジアの主要都市）のなかでグローバルに経済成長。
- ◆ 今後の成長には、都市として、経済産業のイノベーション、構造転換に向けた「チャレンジの後押し（ビジネス環境等）」と、「暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさ（ウェルビーイング、社会課題解決）」を兼ね備えることが必要。
- ◆ この理念のもと「変革を先取りし、誰もがワクワクする都市」として、「国内外の若者や女性をはじめ多くの人々の新たなチャレンジ」で成長を成し遂げ、東西二極の一極をめざす。こうした取組により、『経済的ポテンシャル』を向上。

バックアップ

- ◆ 大阪自らの安全・危機管理機能の強化のうえに、さらに、経済力を背景に、経済面、行政・政治面でのバックアップ機能を強化し、非常時に日本を支える『バックアップ拠点（重都）』として、名実ともに広く国内外の信頼を得る。

行政・政治

- ◆ 府市一体の強化と府域の基礎自治強化、将来の道州制を視野に入れた関西、とりわけ、一体の経済圏をなす京阪神の連携強化、さらには、大阪・関西の国出先機関等の機能強化と府市との連携等を進める。
- ◆ 副首都推進（平時の日本の成長、非常時の首都機能のバックアップ）のための法整備について検討を深め、国にその実現を迫る。
- ◆ あわせて、引き続き、大都市における国と地方、広域自治体と基礎自治体のあり方について、公民連携や海外の取組事例も視野に、調査・知見収集。こうした取組により、『行政・政治的ポテンシャル』を向上。



副首都・大阪

東西二極の一極 さらに 複数の都市が日本の成長をけん引(拠点分散・分権型の国の形)

経済成長

首都機能のバックアップ

行政・政治基盤充実

変革を先取り 魅力にあふれ ワクワクする都市
国内外から多くの人や投資を惹きつける

(副首都・大阪のめざす都市のイメージ)

チャレンジの後押し

〔ビジネス環境等〕

人が中心

・若者がチャレンジできる
・女性が活躍できる
・次世代を育む

暮らしやすさ
働きやすさ
楽しさ

〔ウェルビーイング
社会課題解決〕

都市としてのベーシックな基盤

〔交通・まちづくり、安全・危機管理機能、
スマートシティ等〕

チャレンジを促す経済政策

スタートアップの創出、成長加速

多様な観光産業の発展

イノベーションの創出

中小企業の挑戦と万博レガシーの継承

府市一体を核に行政体制の整備

大阪自らの取組

府市一体の強化

府域の基礎自治強化

府域を越える広域行政強化

国への働きかけ

大阪の取組を
後押しする
仕組みづくり

世界標準の都市機能の充実

チャレンジを後押しする機能

(大阪公立大学の機能強化、国際金融都市 など)

暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさを高める機能

(子育て・教育環境充実、若者の魅力的な就業の場 など)

都市としてのベーシックな機能

(交通ネットワーク、拠点エリアの形成 など)

大阪の強みの再確認 → 更なる強化、新たな強み

東京とは異なる
魅力の発信

これまでの府市一体の取組 (二重・二元行政→サービス・投資の最適化)

大阪人気質【フレンドリー、I礼ギツシ】

都市ブランド向上

ウェルビーイングへの関心の高まり
Dx・脱炭素などの新たな社会潮流
コロナからの経済回復 など